



平成30年4月12日

各 位

会 社 名 SAMURAI&J PARTNERS株式会社  
代表者名 代表取締役 安藤 潔  
コード・上場 4 7 6 4 ・ J A S D A Q  
問合せ先 取 締 役 山口 慶一  
電話番号 0 3 - 5 2 5 9 - 5 3 0 0 (代表)

(再訂正) 「平成30年1月期 決算短信 [日本基準] (連結)」の一部訂正について

平成30年3月15日に公表いたしました「平成30年1月期 決算短信 [日本基準] (連結)」について一部訂正があり、同年3月20日付に「(訂正) 平成30年1月期 決算短信 [日本基準] (連結) の一部訂正について」のお知らせを行っていましたが、新たに追加すべき内容及び訂正すべき点が判明しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、数値データの訂正はありません。

追加・訂正箇所には下線を付しております。

## 記

### 1. 追加内容

追加箇所 「平成30年1月期 決算短信 [日本基準] (連結)」の3ページ

#### 1. 経営成績等の概況 (2) 当期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当連結会計年度末における総資産は 1,764,540 千円 (前連結会計年度末と比べ 892,702 千円増) となりました。

流動資産は 711,722 千円 (前連結会計年度末と比べ 67,254 千円増) となりました。

これは主に現金及び預金が 658,262 千円 (前連結会計年度末と比べ 207,628 千円増) となったこと、預け金が零 (前連結会計年度末と比べ 119,847 千円減) となったこと、売掛金が 20,471 千円 (前連結会計年度末と比べ 20,859 千円減) となったこと等によるものであります。

固定資産は1,052,818千円（前連結会計年度末と比べ825,447千円増）となりました。

これは主に有形固定資産における建物及び構築物（純額）147,833千円（前連結会計年度末と比べ127,635千円増）、土地が442,884千円（前連結会計年度末と比べ287,238千円増）、無形固定資産におけるのれんが403,922千円（前連結会計年度末と比べ403,922千円増）となったこと等によるものであります。

流動負債は102,272千円（前連結会計年度末と比べ71,513千円増）となりました。

これは主に未払金が13,154千円（前連結会計年度末と比べ4,647千円増）となったこと、未払法人税等が20,828千円（前連結会計年度末と比べ16,801千円増）になったこと、1年内返済予定の長期借入金が26,040千円（前連結会計年度末と比べ26,040千円増）になったこと等によるものであります。

固定負債は251,057千円（前連結会計年度末と比べ243,979千円増）となりました。

これは主に長期借入金が220,940千円（前連結会計年度末に比べ220,940千円増）になったこと等によるものであります。

純資産は1,411,211千円（前連結会計年度末と比べ577,209千円増）となりました。

## 2. 訂正内容

訂正箇所（1）「平成30年1月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」の3ページ

### 1. 経営成績等の概況（3）当期のキャッシュ・フローの概況

#### 【訂正前】

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は67,936千円（前連結会計年度は272,310千円の減少）となりました。

主な内訳は、固定資産の売却益の計上等により税金等調整前当期純損失が111,647千円と前年同期に比べ29,519千円の増益となりましたこと、固定資産売却損益を103,204千円計上したこと、及び前年と比較して、預り金が119,847千円減少したこと、未収入金が26,901千円減少したこととであります。

#### 【訂正後】

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は67,936千円（前連結会計年度は272,310千円の減少）となりました。

主な内訳は、固定資産の売却益の計上等により税金等調整前当期純損失が111,647

千円と前年同期に比べ 29,519 千円の増益となりましたこと、固定資産売却損益を 103,204 千円計上したこと、及び前年と比較して、預け金が 119,847 千円減少したこと、未収入金が 26,901 千円減少したことであります。

訂正箇所（２）「平成 30 年 1 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」の 15 ページ

**【訂正前】**

- (注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△172,732 千円には、セグメント間消去 7,589 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△177,774 千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失（△）は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
3. 減価償却費には、長期前払費用に係る償却が含まれております。
4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の増加額が含まれます。
5. 当社は第 3 四半期連結会計期間において、AIP 証券株式会社(現 SAMURAI 証券株式会社)を連結の範囲に含めております。
- なお、みなし取得日を平成 29 年 10 月 31 日としており、当連結会計年度は平成 29 年 11 月 1 日から平成 30 年 1 月 31 日の損益計算書を連結しております。
6. 当社は第 4 四半期連結会計期間において、株式会社ヴィオを連結の範囲に含めております。
- なお、みなし取得日を平成 30 年 1 月 31 日としており、当連結会計年度は貸借対照表のみを連結しております。
7. 第 3 四半期連結会計期間において、AIP 証券株式会社(現 SAMURAI 証券株式会社)を連結の範囲に含めたことに伴い、従来の「IT サービス事業」、「自社ビル賃貸事業」に「金融関連事業」を報告セグメントとして追加しております。
5. セグメント資産については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはしていないため記載しておりません。

**【訂正後】**

- (注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△172,732 千円には、セグメント間消去 7,589 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△177,774 千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
3. 減価償却費には、長期前払費用に係る償却が含まれております。
4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の増加額が含まれます。
5. 当社は第3四半期連結会計期間において、AIP証券株式会社(現 SAMURAI証券株式会社)を連結の範囲に含めております。  
なお、みなし取得日を平成29年10月31日としており、当連結会計年度は平成29年11月1日から平成30年1月31日の損益計算書を連結しております。
6. 当社は第4四半期連結会計期間において、株式会社ヴィオを連結の範囲に含めております。  
なお、みなし取得日を平成30年1月31日としており、当連結会計年度は貸借対照表のみを連結しております。
7. 第3四半期連結会計期間において、AIP証券株式会社(現 SAMURAI証券株式会社)を連結の範囲に含めたことに伴い、従来の「ITサービス事業」、「自社ビル賃貸事業」に「金融関連事業」を報告セグメントとして追加しております。
8. セグメント資産については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはしていないため記載しておりません。

### 3. 追加・訂正の理由

平成30年3月15日の公表及び同年3月20日の訂正報告後に、新たに記載内容に一部誤りのあることが判明したため、追加・訂正するものであります。

以 上